

「学修時間と学修成果の可視化に関するアンケート」

アンケート実施期間：令和2年（2020年）1月15日（水）～2月7日（金）

実施方法：UNIPAによる回答

アンケート対象者数：3,284名

アンケート回答者数：1,386名（回答率：42.2%）

設問1 あなたの授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間について、当てはまる時間を教えてください。

a. 授業数（演習・実験・実習を含む）（1コマ＝90分の授業等）

※看護学部生は実習期間外について回答ください。

【ア.0コマ イ.1～2コマ ウ.3～5コマ エ.6～10コマ オ.11～15コマ
カ.16～20コマ キ.21コマ以上】

b. 授業・演習・実験・実習の課題、準備、復習

【ア.1時間未満 イ.1～2時間 ウ.3～4時間 エ.5～6時間 オ.7～8時間
カ.9～10時間 キ.11～15時間 ク.16～20時間 ケ.21～25時間 コ.26時間以上】

c. 卒業研究・卒論（該当者のみ）

【ア.1時間未満 イ.1～2時間 ウ.3～4時間 エ.5～6時間 オ.7～8時間
カ.9～10時間 キ.11～15時間 ク.16～20時間 ケ.21～25時間 コ.26時間以上】

d. 授業とは関係のない学習・読書（資格取得に関する勉強、試験対策講座の受講、ボランティア活動への参加、教養や興味を深めるための読書やインターネットを用いた調査などが該当します。）

【ア.1時間未満 イ.1～2時間 ウ.3～4時間 エ.5～6時間 オ.7～8時間
カ.9～10時間 キ.11～15時間 ク.16～20時間 ケ.21～25時間 コ.26時間以上】

設問2 大学の学修についてお聞きします。該当する数字を入力ください。

a. 今までの大学の学修を通じて自分の成長を実感していますか。

【6.とても実感している 5.やや実感している 4.どちらかといえば実感している
3.どちらかといえば実感していない 2.あまり実感していない 1.まったく実感していない】

b. もし、特に成長を感じられた事項がありましたら、教えてください。

設問3 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて

下記URLのとおり、各学部・学科の卒業生が身に着けるべき能力が「ディプロマ・ポリシー」として、そのための授業の構成の方針が「カリキュラム・ポリシー」として公開されています。

<https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/>

a. 「ポリシー」について読んだり説明を受けたりしたことがありますか。

b. 「ポリシー」を読んだ意見・感想を聞かせてください。

設問4 ポートフォリオについて

他の大学では、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力をどの程度身に着けたかを、皆さんに提示する仕組みを用意しているところがあります。

	ディプロマ・ポリシー(DP)				成績(GP)	単位数
	知識・理解	技能	思考・表現	関心・意欲		
科目A	○	○	○		4	2
科目B	○			○	2	2
科目C		○		○	3	2
達成率	80%	90%	90%	70%		

本学でも再来年度から教養教育でこのような仕組みを導入することを計画しています。専門教育でも同様の仕組みを検討しています。

a. 「ポリシー」や「ポートフォリオ」がどのように役立つと思いますか。(複数回答可)

【大学で学修を進めるための目標となる 履修する科目の選択の参考になる

就職活動をするにあたって、大学で何を身に着けたかの説明に役立つ その他】

b. このような仕組みについて意見・感想を聞かせてください。

設問5 本学の教育(カリキュラム、時間割など)について、建設的な提案があれば教えてください。